

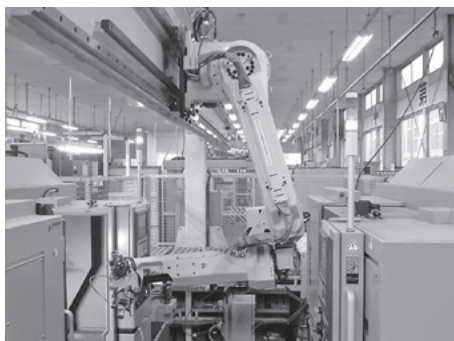
補助金に関する相談・申請は山県市商工会へ
申請期間 6月1日～18日
TEL 22-3939

中小企業者、
開業予定の皆さん！

山県市中小企業等活性化補助金
交付制度を活用しませんか？

Q. 誰が補助の対象になるの？

- A. 対象者はおおむね次のとおりです。
- ・市内で事業を営む中小企業者および小規模事業者(会社、会社に準ずる営利法人、個人事業主も含まれます)
 - ・令和2年4月1日から令和3年12月31日までの創業者または開業を予定する人
 - ・さくらカンパニー認定事業者



Q. どんな事業が補助の対象になるの？

A. 大きく分けると二つの事業が対象になります。

- ①生産性の向上、経営の効率化、多様な人材の活躍、販路開拓・拡大、事業継続に効果が見込まれる事業



補助対象区分

区分	対象項目	具体例
A	生産性の向上	先端設備機器の導入 注文が増えても今の機械では対応できないため、もっと能力の高い機械に買い替えたいなど。
B	経営の効率化	IT・IoT・DX化の促進 オンラインでの注文・決済サービスを新たに導入したいなど。
C	多様な人材の活躍	労働環境改善・人材確保 社員や利用者の健康管理のため、自動検温システムや換気性能の高い空調を導入したいなど。
D	販路開拓・拡大	新商品の開発・PR 新商品を開発するために専門家に相談したい、スマートフォンに対応するようにホームページを改修したいなど。
E	事業継続	業務改善・事業承継・業態変更 新たにテイクアウト販売を始めるために店舗を改修したいなど。

- ②事業者や創業者が自ら取り組むビジネスで、地域社会の課題解決に効果が見込まれる事業

Q. どれくらい補助があるの？

A. 事業によって補助率は異なりますが、補助金は最大250万円です。

Q. 申請するにはどうしたらいいの？

A. 山県市商工会に事前相談の上、申請書を提出してください。

国や県にはこの事業より補助金額の多いものもあります。活用を検討してください。

この制度は、山県市が予算の範囲内で、市内で事業を営む会社、個人事業主などの事業者の持続的な経営と事業の発展ならびに市内の経済・産業の活性化のため、自ら積極的に課題に取り組み事業者を支援する制度です。また、事業者が補助金を活用できるように、山県市商工会が経営指導や技術支援などの伴走型支援を行います。

岡まちづくり・企業支援課 TEL 22-6831

山県市協働のまちづくり活動補助金の受付開始

協働して活力あるまちづくりを進めるため、市内で地域の課題解決を目指し、自主的に取り組む市内団体に対して、補助金を交付します。

企画財政課 TEL22-6825

■受付期間 5月6日(木)～7月5日(月) 8時30分～17時 ※土・日・祝休日を除く

■補助の概要

1. スタート支援型コース

団体設立3年未満

補助対象経費 5分の4以内 補助限度額20万円(備品は補助対象経費 2分の1以内)

2. テーマ設定型支援コース

歴史的資産を活用したまちづくり

補助対象経費 10分の9以内 補助限度額20万円

3. 継続支援型コース

1回目 補助対象経費 3分の2以内 補助限度額8万円

2回目 補助対象経費 2分の1以内 補助限度額6万円

3回目以降 補助対象経費 3分の1以内 補助限度額4万円

■申込方法 申請書などの必要書類を受付期間内に、市役所2階企画財政課へ提出してください。
必要書類は、企画財政課で受け取るか、市HPからダウンロードしてください。

対象団体	<ul style="list-style-type: none">・市内に活動拠点をもち、年度内に山県市まちづくり基本条例の理念を具体化しようとする地域活動事業を行い、または行う予定があること・5人以上で構成され、その構成員のうち過半数が市内に在住、在勤または在学すること・組織の設置を、定款、会則その他これに準じるもので定めていること・年間の事業計画を有し、団体の収支が明確であること
対象事業	<ul style="list-style-type: none">・対象団体の年間の事業計画において実施される事業・自主的かつ公益的な事業・新規性または拡充性のある先駆的事业・単年度で実施する事業

※条件など詳しくは市HPで確認してください。

■令和2年度補助金活用実績

虫追い

田の多様な意義・価値を伝えるため「田」に「火」を用いて文字を浮かび上がらせるイベントを開催。

住みやすい旭ヶ丘を目指す事業

自治会周辺の荒廃した里山を土地所有者と自治会が協働して整備。

美山の河川環境の未来を考えるパネルディスカッション

河川に関するさまざまな問題について、改善に向けた意見交換会を行い具体的な取り組み内容を検討。

四国山八十八箇所霊場巡り追加案内板等

参拝道の案内板を追加設置し、総合案内板周りに植栽を行った。

大桑城跡を学び・守り・発信する会

大桑城跡の魅力を伝えるため、講演会などを開催。

山県の「よさ」を見つけましょう会12年間の活動記録の作成

まちづくり、観光産業などさまざまな分野の資料とするため、12年間の活動報告を冊子にまとめ配布。